部課名	経済観光部産業政策課
課の使命	○町田商工会議所や町田新産業創造センター等の事業者支援機関と連携し、事業者の創業期、拡大期、承継期などの様々なステージに応じた支援を行うことで、市内産業の活性化を図ります。 ○市内経済の中心である中心市街地において、都市再生推進法人をはじめ、中心市街地で活動する団体、企業と協力して一層の賑わいを創出します。 ○経済観光部内の連絡調整並びに部内の事務事業の執行計画の調整及び進行管理を行います。

実行計画（年度目標）

	年度目標設定					中間確認			年度末確認				
順位	取組項目	計画類型	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
1	新型コロナウイルス感染症対策支援① （地域活性化促進）	個別計画	①町田市内の対象店舗において、キャッシュレス決済を行った消費者にプレミアムポイントを付与する事業を実施します。 ②町田駅周辺の中心市街地の空き店舗等に出店する事業者に対し、開業に係る補助金を交付します。	①決済総額 ②補助金交付件数	①50億円 ②7件								
2	新型コロナウイルス感染症対策支援② （中小企業者支援）	個別計画	事業者が取り組む、生産性向上・販路拡大等を促進するためのデジタル化や、感染症対応に係るBCPの策定・改定、及びBCPを実践するために必要な物品・設備等の導入に対し、補助金を交付します。	補助金交付件数	60件								
3	産業支援複合施設の整備	重点事業プラン	町田新産業創造センターと町田商工会議所、町田市勤労者福祉サービスセンターが一体となった産業支援施設を、町田新産業創造センター現有地に整備するため、民間活力導入可能性調査を実施し、整備事業手法を決定します。	整備事業手法の決定	決定								

	年度目標設定					中間確認			年度末確認				
順位	取組項目	計画類型	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
4	起業・創業の魅力を発信	重点事業プラン	①起業・創業希望者に対し、「町田創業プロジェクト(※)」の支援機関と連携し、「起業家カード」を発行し、販路拡大や資金調達のサポートなど、各種支援を行います。 ②より多くの方に起業・創業への関心を持っていただくため、創業機運醸成の各種イベントを実施します。 ③コロナ禍における社会変化をチャンスと捉え、ビジネスチャンスをつかむことができる人材を育成するため、新たに、高校生や大学生ら若者を対象にした若者創業スクール事業を実施します。 (※)「町田創業プロジェクト」地域の支援機関(商工会議所・町田新産業創造センター・民間創業支援施設・金融機関・町田市)が連携して創業者支援を行う公的なネットワーク	①起業家カードの発行枚数 ②実施回数 ③参加者数	①210枚 ②12回 ③80名								
5	中心市街地活性化の推進	重点事業プラン	①2023年度に整備するパークレットのデザイン検討及び設計、並びに歩道拡幅工事に向けた設計を行います。 ②パークレット周辺の公共空間利活用に向け、都市再生推進法人と共に社会実験を実施し、運用方針(案)を策定します。	①パークレットデザイン及び歩道の設計 ②運用方針(案)の策定	①完了 ②完了								

	年度目標設定					中間確認			年度末確認				
順位	取組項目	計画類型	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
6	円滑な事業承継を推進	重点事業プラン	①「町田市事業承継推進ネットワーク(※)」(以下、「ネットワーク」という。)の各構成機関において、市内事業者それぞれの課題に応じた個別相談を行います。 ②ネットワーク各機関と相互に連携し、個別事業者のニーズに応じた情報発信や事業承継に必要な資金調達を支援するなど、市内の事業承継を推進します。 ③事業承継期にある市内事業者の支援を充実させるため、ニーズ及び実態を調査します。 ※「町田市事業承継推進ネットワーク」地域の支援機関(町田商工会議所・多摩ビジネスサポートセンター・金融機関・町田新産業創造センター・町田市等)が事業者や支援手法の情報等を共有しながら、それぞれの事業者に合った機関が連携して事業承継支援を行うネットワーク	①個別相談の件数 ②事業承継完了件数 ③調査の実施	①300件 ②4件 ③調査完了								
7	事業者の新分野・新技術への進出を後押し	重点事業プラン	①「特許権等取得事業補助金」を交付し、市内事業者のアイデアや技術の保護・権利化や有効な活用に向けた支援を行うことで、事業者の競争力・付加価値向上を図ります。 ②「新商品・新サービス開発事業補助金」を交付し、市内事業者の新技術導入や新たな事業分野の開拓、トライアル発注認定制度に向けた新商品の開発を促進します。	①特許権等取得事業補助金交付件数 ②新商品・新サービス開発事業補助金交付件数	①30件 ②6件								
8	ワーク・ライフ・バランスの推進	—	部(課)独自の定時退庁強化日(毎週金曜日※)や休暇取得日(月1日)を設定することにより、タイムマネジメントを意識した計画的・効率的な仕事のすすめ方を推進します。 ※金曜日に定時退庁が困難な場合は代替日を設定した実施を可とする。	①毎週金曜日の定時退庁の実施 ②1人当たりの年間平均年次有給休暇取得日数	①実施 ②年16日以上								

部課名	経済観光部観光まちづくり課
課の使命	市民にとっては地域に愛着を感じ住み続けたくなるような、来訪者にとっては何度も訪れたくなるようなまちを実現するため、観光まちづくりを推進します。

実行計画（年度目標）

	年度目標設定					中間確認			年度末確認				
順位	取組項目	計画類型	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
1	「町田薬師池公園四季彩の杜」魅力向上の推進	重点事業プラン	新たな「町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上計画」を策定します。	四季彩の杜来園者数	117万人								
2	「町田薬師池公園四季彩の杜」来園者の満足度向上	重点事業プラン	四季彩の杜で新たに「春のお祭り」を開催し、各施設が連携したイベントや出店を行います。また、紅葉祭りを更に盛り上げるイベント等を実施します。	来園者の満足度	70％以上								
3	新型コロナウイルス感染症対策支援（地域回遊イベントの実施）	個別計画	観光拠点や商店街など、市内全体を回遊するリアル・オンラインイベントを開催し、町田の魅力を発信するとともに、地域の活性化を後押しします。	参加者の満足度	80％以上								
4	デジタルスタンプラリーの実施	重点事業プラン	スマートフォンを使用したデジタルスタンプラリーを実施し、市内外からの来訪を促します。	イベント参加者数	1,000人								
5	ワーク・ライフ・バランスの推進	―	部（課）独自の定時退庁強化日（毎週金曜日※）や休暇取得日（月１日）を設定することにより、タイムマネジメントを意識した計画的・効率的な仕事のすすめ方を推進します。 ※金曜日に定時退庁が困難な場合は代替日を設定した実施を可とする。	①毎週金曜日の定時退庁の実施 ②1人当たりの年間平均年次有給休暇取得日数	①実施 ②年16日以上								

部課名	経済観光部農業振興課
課の使命	○「市民と農をつなぐ」魅力ある町田の農業を実現します。 ○「住む人も　訪れる人も　居心地のよい　まちだの里山」を実現します。

実行計画（年度目標）

	年度目標設定					中間確認			年度末確認				
順位	取組項目	計画類型	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
1	山林の再生と活用	重点事業プラン	未活用の市有山林を再生し、活用するため、現地調査と計画的な樹木伐採などを行います。	新たな山林再生に着手した面積	16,000㎡								
2	地産地消の推進	重点事業プラン	環境変化に対応した町田市産農産物の新たな販売方法を導入した直売所（生鮮宅配ボックス）を増設し、販路を拡大します。（現状20箇所）	直売所設置数	22箇所								
3	里山資源の活用促進	重点事業プラン	地域の団体や市内外の企業等に対して、里山資源の活用に向けた働きかけを行い、新たな団体が活動できるよう支援をします。	活動に参画する団体数	8団体								
4	農業の担い手育成	個別計画	営農技術のみならず、就農に必要な農業経営のスキルや、農地貸借等の農地に関する法知識も習得できるようなカリキュラム（案）を策定します。	カリキュラム（案）の策定	決定								
5	交流回遊拠点の施設機能の検討	重点事業プラン	小山田エリアにおける交流回遊拠点の施設機能を検討するため、地域住民等を対象とするワークショップを開催します。	ワークショップの開催回数	3回								
6	農業の担い手のための農地確保	個別計画	農業研修修了生の新規就農用地確保のため、再生農地の選定を行います。	再生農地の選定	選定								
7	農業体験事業の拡充	個別計画	市民農園、体験農園及び収穫体験農園（観光農園）等の実施を農業者に働きかけ、農業体験事業を拡充します。	農業体験事業の実施農園数	34園								

	年度目標設定					中間確認			年度末確認				
順位	取組項目	計画類型	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
8	ワーク・ライフ・バランスの推進	—	部（課）独自の定時退庁強化日（毎週金曜日※）や休暇取得日（月１日）を設定することにより、タイムマネジメントを意識した計画的・効率的な仕事のすすめ方を推進します。 ※金曜日に定時退庁が困難な場合は代替日を設定した実施を可とする。	①毎週金曜日の定時退庁の実施 ②1人当たりの年間平均年次有給休暇取得日数	①実施 ②年16日以上								